

事業名	中小企業支援事業
-----	----------

総事業費	561 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図	安定・向上する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	県特産品協会、中小企業団体中央会に負担金納付、特定中小企業者の認定（セーフティネット保証制度）作業、商工業振興利子補給補助金の公募と補助金処理などは商工会や金融機関と連携して、市内中小企業を支援する業務を行った。
	成果	商工業振興利子補給補助金交付件数 18件 409,200円

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の申請件数が極端に減少しており、金融機関等への周知や対象者の掘り起しを行う必要がある。(H27 56件 2,621,200円) 市商工会や金融機関との連携が必須である。 令和2年からは新型コロナウイルス感染症の影響によるセーフティネットの認定等が増加しており、今後も関係機関と連携しながら市内事業者の資金繰り等の支援を検討していく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<p>廃業・倒産数が毎年発生する中、持続的な企業活動を促し、雇用を確保しながら事業を行っていくために資金繰りは非常に重要である。商工会や金融機関とも連携しながら、借入金の利子軽減を行うことで経営安定化に向けた行っている。本年度は、例年に比べ実績が減少しているが、各事業所を取り巻く環境は厳しさを増している状況にあることから、制度利用について引き続き促進を図りたい。さらに、今後新型コロナウイルスによる資金借り入れが大幅に増加することが予想されるため、制度内容を改正し事業者支援について早急に対応していく必要がある。</p>

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、セーフティネットについて申請等が増えている。利子の補助も実施されており、無利子かとなっていることから補助金の申請については減少が見込まれる。</p>
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	創業支援事業
-----	--------

総事業費	636 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	産業創出費
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図	①創業の支援する ②経営力の強化を支援する	
事業の実績 と 成果	取組内容	商工会や金融機関と連携した創業支援ネットワークにより、創業希望者に対して創業スクールを開催。創業等支援計画の更新も行い、認定を受けた。
	成果	創業者数1件 ・金融機関・商工会団体・行政が連携し、創業者支援を実施するもので、今までになかった多面的サポート体制であり、具体的な創業に結びつきやすい。 ・金融機関との情報共有について検討を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・創業スクールへの参加希望者が年々減少しており、どのようなサポート体制が必要かを毎年試行錯誤していく必要がある。 ・創業支援ネットワークが1回しか実施できておらず、市内の経済状況を把握するためにも随時開催し、情報共有に努める必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	創業者数の目標値には至らなかったが、創業希望者への創業に向けた支援体制は整いつつある。今後も商工会や金融機関と連携を図りながら、制度の利用促進を図り、継続した支援を行うことで実績に繋げたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	事業内容に大きな変更はないが、新たな創業等支援計画によって事業を実施する年度である。今年度は、起業後の事業継続に向けたセミナー等への展開も実施していきたい。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	創業スクールの様子

事業名	インターンシップ事業
-----	------------

総事業費	268 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図	①就業体験を実施する ②雇用を促進する	
事業の実績 と 成果	取組内容	今年度は、インターンシップ参加学生を増やすために鹿児島大学のインターンシップの担当課や講義に参加して事業内容の周知を行い、福祉学科の専門学校や短大も訪問した。
	成果	インターンシップ受入件数 3名（鹿児島大学）、2名（鹿児島国際大学）。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に雇用不足がある中で、どのようにして離島企業に魅力を感じてもらうかがポイントであると感じる。 ・企業と一緒に魅力向上に取り組み、大学側にアピールすることが必要である。 ・大学生が就業を体験するのみではなく、事業所等へ提言できるような仕組みも検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<p>インターンシップ参加学生を増やすために鹿児島大学のインターンシップの担当課や講義に参加して事業内容の周知を行い、福祉学科の専門学校や短大も訪問することで、目標には達しなかったが、前年度に比べ新たに学生を受けることができた。</p> <p>全国的な雇用情勢の好転（有効求人倍率の増）や離島というハンディがあるが、より効果にマッチングができるよう、新しい事業の中で構築を図りたい。</p>

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	令和元年度事業終了
-----------	-----------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	インターンシップの様子

事業名	企業活動支援事業
-----	----------

総事業費	2,227 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図	把握する	
事業の実績 と 成果	取組内容	市内で事業活動を行う事業所、団体、個人または市内で起業を考えている団体、個人等を対象に、新商品開発・販路開拓等の事業活動及び起業、新規分野参入などの活動を支援する補助金の交付を行うため、事業募集→相談対応→審査委員会による審査（審査委員会開催）→交付決定→補助金交付→実績報告確認、事業実施後の進捗状況把握を行った。
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発事業 3件 ・販路開拓事業 2件 ・ビジネスプラン実現化事業 1件 ・店舗魅力アップ事業 1件

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の事業所に偏っているために制度を見直す必要がある。 ・事業実施後の成果をしっかりと把握する仕組みが必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	事業の交付決定数及び起業件数ともに、目標数を上回る実績となり、一定の成果に繋がった。 新年度からは、港町再生を促進するための新たな補助対象項目も追加するなど、これまでの事業を見直し新たな事業として、効果的な運用を図りたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	新規事業（皆とまち再生支援事業）へ統合
-----------	---------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明